



地球をデザインする会社

RO-1

# 東光コンサルタンツの技術短信 No. 1 (道路)

道路は生活に密着した人と物流の基幹施設です。当社はインターチェンジ・トンネル・橋梁など高速道路施設の設計・施工管理や、国道などの改良設計を行っています。また騒音測定・交通量や整備効果調査といったソフト系業務にも多くの実績があります。その他、高速道路の遮音壁設計なども行っています。

- < 実績例 > 東海北陸自動車道実施設計  
近畿自動車道大宮台施工管理  
首都高速減収要因分析調査



大分道湯布院付近

## <最近の道路設計業務の傾向>

近年では構造物設計のほか、事故危険箇所設計業務や都市圏道路整備効果調査業務など、防災・事業評価系のソフト業務も増えています。

<主な発注者> ; 国土交通省、日本道路公団、地方公共団体など。

## 雑学 : 道の駅とは...

道の駅は現在、全国に 785 駅あるそうです。平成 3 年から 4 年にかけて 3 駅が実験設置され、同年、交通安全施設等整備事業に関する緊急措置法に、道の駅の「駐車場」が対象事業に追加されました。

コンセプトは「休憩機能」「情報発信機能」「地域の連携機能」の融合で、バリアフリーな施設を市町村や公的団体が設置者となり、様々なサービス施設を提供するものです。



(財)道路保全技術センターHP より

## 東光の“画像処理による効率的ナンバープレート調査”技術

当社が開発した、自動車の各種施設利用実態調査技術をご紹介します。

日本の自動車保有台数は約 7,400 万台（H14 年度末）で、社会経済活動を支え日常欠くことのできない必要なアイテムのひとつであり、その動向は経済活動等の大きな指標ともなっています。そこで従来から自動車による各種施設の利用実態等を把握するため調査が行われてきました。

調査手法の一つに『ナンバープレート調査』がありますが、従来の調査は人海戦術によるものが多く、通過台数が 1 万台 / 12 時間を超えると限界点とされています。

そこで当社では画像処理技術を取り入れた効率的なナンバープレート調査技術を開発しました。

従来の人（目視）による帳票記入の調査ではなく、これからは確実且つ効率的な IT 技術を用いた画像処理による「ナンバープレート調査」をご提案致します

### 特徴

画像からナンバープレートを自動検出  
市販のデジカメやビデオでも調査可能  
ナンバープレート内の全文字判読可能  
短時間でデータ処理が可能

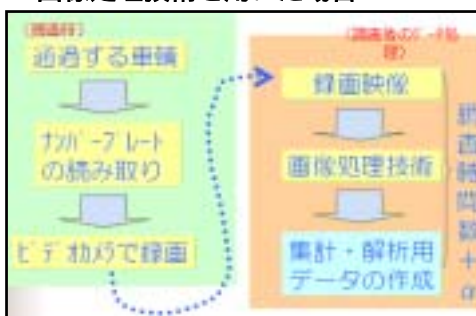
### 当技術の利用例

- ・休憩施設や駐車場などを利用するお客様の利用実態調査に最適です。
- ・多様化する自動車利用のお客様のニーズに答える貴重な資料となり、休憩施設等の配置計画などに利用できます。
- ・ドライバーの経路選択や乗り継ぎなどの実態調査に利用できます。
- ・車種や車籍地別利用データなどの集計ができます。

### 人による調査実施状況



### 画像処理技術を用いた場合



### ナンバープレートの情報



株式会社 東光コンサルタンツ

技術本部

担当営業：

〒170-0005 東京都豊島区南大塚3丁目32番1号

TEL: 03-5950-7203 FAX: 03-5950-3652

URL: <http://www.tokoc.co.jp>

担当: 本社事業部技術第一部 西廣、丸山

制作: (株) トーコー総研